

(様式1)

令和3年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県国際健康プラザ 健康課

2 施設所在地
富山市友杉151番地

3 施設設置年度
平成11 年度

4 設置目的
すべての県民が健やかでやすらぎのある生活を送ることができるよう、県民の健康に対する意識の向上及び県民一人一人の健康づくりを支援し、併せて、国内外に向けて健康づくりに関する情報を発信する。

5 施設概要
敷地面積：10.7ha
主な施設
・生命科学館：1,736㎡
・健康スタジアム：トレーニングゾーン、屋内プールゾーン等 5,024㎡
・屋外健康づくり施設：トリムコース、じゃぶじゃぶ池等 約6万㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県健康づくり財団

7 指定期間
5 年
平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

H29	H30	R1	R2	R3
250,604	261,436	258,917	72,738	111,139

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H29	H30	R1	R2	R3
74,081	76,099	73,058	13,619	28,669

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H29	H30	R1	R2	R3
87,332	88,949	88,949	80,628	22,110

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数111,139人のうち、有料エリアの健康スタジアム利用者数は、60,000人の見込みに対し実績81,925人、136.5%であった。また、前年41,568人に対し197.0%であった。
・利用料収入は、22,110千円の見込みに対し実績28,669千円(129.6%)であった。また、前年13,619千円に対し210.5%であった。

(2) サービス向上に向けた取組み

・令和3年度は、前年に引き続き新型コロナ対策による利用時間及び利用施設の制限に適応した「1回当たりの2時間及び3時間利用」の特別料金を設定し、利用促進に努めた。
・自由参加プログラムは、新型コロナ対策で利用を休止していた小スタジオでの実施を10月から再開した。
・平成17年度から医師、保健師、栄養士及び運動指導士による健康相談を随時実施している。
・平成18年度からの「利用者モニター会議」や平成22年度からの「お客さまの声」の箱に寄せられた要望等を踏まえ、利用者サービスの向上を図っている。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、営業時間、利用施設及び入場者数の制限の緩和、健康づくり事業等の再開、利用促進に努めた。
・平成12年度から送迎バスを借り上げ、県内遠方からでも利用できるよう団体の無料送迎を行っている。
・平成17年度から「市町村の日」を設定し、当該市町村民に施設半額利用サービス等を提供している。
・平成29年度から講座参加者に引換券を渡し、3枚貯まると健康スタジアム半額利用券と交換し、利用促進を図っている。
・平成29年度から大型ショッピングセンター内で健康フェスティバルを開催し、事業の周知を図っている。(令和3年度は新型コロナ対策のため開催中止)

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	「お客さまの声」の箱を設置し、アンケート用紙を随時回収
回答者数	47件
結果	・健康パークでの塩素の臭いに関する苦情 ・シニア料金設定の要望 ・利用上のマナー、ルールへの順守及び職員の接遇等の改善などに係る意見があった。
結果を踏まえた改善事項	アンケートを回収した時点で対応を検討し、必要な事項についてはできるだけ早急に改善を図っている。 また、個別に回答すべき点については、その都度協議し、回答している。

②その他利用者の声を反映させる取組み

公募モニター(8名)によるモニター会議を年2回開催し、施設の運営方法等について説明を行うとともに、意見・要望を聴取し、施設運営に反映させている。

③主な苦情と対応

- ・塩素の臭いに対する苦情に対して、浴槽水を塩素等で消毒することが規定で義務付けられており、当館の浴槽水の塩素濃度は既定の範囲内であり人体に影響がないことを伝えた。
- ・シニア料金の設定の要望に対しては「平日デイ」や「休日プラス」といった、ライフステージに応じた割引制度を用意していることを伝え、利用を促した。
- ・利用者同士のマナー等は、必要に応じて掲示等を行い注意を促している。

(5) 個人情報保護の取組み

- ・ 個人情報に関する指針を定めて、職員を周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

- ・ 令和3年度は、県内の運動型健康増進施設等34施設で構成する「富山県健康増進施設連絡協議会」において、新型コロナ対応をテーマに会議を実施し、情報交換を行った。

(7) 施設・設備の維持管理

- ・ 適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・ 富山市消防局と連携した防火訓練の実施
- ・ 危機管理マニュアル等に基づくAED講習会の実施(12月,3月)
- ・ 健康スタジアムを営業するに当たり、新型コロナウイルス感染拡大防止マニュアル(スタジアム内の消毒、感染者発生時の対応等)を策定(令和2年度)

10 所管課の管理運営確認状況

	有/無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	3
③個人情報に関するトラブルの有無	無	—
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

なし

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・ 施設や設備、備品の老朽化が進んでおり、計画的な修繕・更新が必要
- ・ SNS等を活用したリアルタイムな情報発信のさらなる推進(R3年から新たにInstagramを活用し情報発信を行った)
- ・ 市町村、企業等への利用促進による県内全域からの幅広い年齢層の利用の促進
- ・ 関係団体、施設との連携による健康増進の中核施設としての機能強化
- ・ 効率的な運営に向けた業務の見直しによる費用の削減徹底
- ・ イベントの実施等による施設の一層の周知
- ・ 健康づくりに関して集積した情報やノウハウの公開
- ・ 「市町村の日」の活用をさらに呼びかけるとともに、利用可能日を増やすこと